

第 3 学年 現代文B 授業計画表 (文系・外国語科・必修 3単位 2.5コマ)

年間目標	<p>①評論 1・2年次の知識を基に近現代的テーマを中心に正確な読解力を身につける。評論用語、近現代諸問題に関わる専門用語の語彙を身につけ、論理的な思考により、広く近現代社会の諸問題を捉え、かつ、自らの意見を表現する技術を身につける。</p> <p>②小説 近現代の諸作品に幅広く親しみ、鑑賞方法を学び、表現方法・文体・テーマなどを総合的に考え、人間感情の機微に触れる。</p> <p>③1・2学年の学習をさらに深め、大学入試・進学後に役立つ学力を養成する。</p>	<p>教科書 「新 探求現代文B」 (桐原書店) 副教材 現代文単語(数研出版) ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店) 日本文学史要点チェックノート(文英堂) プログレス現代文総演習発展編 (いっずな書店) 大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編(数研出版) 他 辞書 国語辞典・漢和辞典</p>
期	I 期 (前期中間考査まで / 4月～5月)	II 期 (前期期末考査まで / 5月～7月)
学習目標・学習内容	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象語彙等、近現代の諸問題に関わる専門用語について、辞書等で確認し、意味の定着を図る。 ・キーワードの把握方法を理解する。 ・用語の正確な把握方法を学ぶ。 ・評論読解の基礎を理解する。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景描写と人物心情の関係を表現技法から理解する。 ・作品の構成・展開を正確に把握して、テーマを的確に理解する。 ・自己中心的な読解・発想から、客観的な読解、多角的な発想への転化を図る。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙の拡張、定着を図る。 	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語とその背景、言語と現実世界の関係を考える。 ・歴史的背景から日本文化の特性を考える。 ・一般論と、それに対立する筆者の主張を客観的に捉える。 ・客観性と主観性との両面から対象を捉える方法を身につける。 ・評論読解の基礎、並びに評論文の構造について理解する。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の修辞技法などを理解し、小説構造とテーマ、筋との関係性について考える。 ・随筆や詩歌などにも読解の幅を広げ、心情を味わい咀嚼する機会を積み重ねる。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて思考力・応用力を伸ばす。 ・400字～800字程度の小論文の作成について知る。
到達目標	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 論理の展開を正確に読み取ることができる。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作品の構成・展開を正確に把握して、テーマを的確に理解することができる。 <input type="checkbox"/> 客観的な読解を行うことができる。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論に頻出する語彙を、読解や解答に使用することができる。 	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 論理の展開を正確に読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 論理の二項対立的な図式を把握し、論旨を的確に理解することができる。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作品の修辞技法、構造、テーマと筋との関係性などを理解することができる。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論・小説に頻出する語彙を、読解や解答に使用することができる。 <input type="checkbox"/> 記述問題や応用的な問題に積極的に取り組み、解答することができる。
評価材料	定期考査(中間考査)、課題テスト 授業中の発言・発表・態度、課題の提出 他	定期考査(期末考査) 授業中の発言・発表・態度、課題の提出 他
備考		

第 3 学年 現代文 B 授業計画表

年間目標	前期と同じ	使用教材	前期に加えて 記述式問題集
期	Ⅲ期（後期中間考査Ⅰ／7月～10月，中間考査Ⅱ／10月～12月）	Ⅳ期（学年末考査まで／12月～3月）	
学習目標・学習内容	<p>【評論】 様々な演習問題への取り組みを通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象語彙等、近現代の諸問題に関わる専門用語について、意味の定着を図る。 ・キーワードの把握方法、用語の正確な把握方法を学ぶ。 ・評論を読み慣れ、一定の時間での読解・解法に習熟する。 ・記述問題の取り組み方を把握する。 <p>【小説】 様々な演習問題への取り組みを通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景描写と人物心情の関係を表現技法から理解し、作品の構成・展開を正確に把握する。 ・自己中心的な読解・発想から、客観的な読解、多角的な発想への転化を図る。 ・小説を読み慣れ、一定の時間での読解・解法に習熟する。 ・記述問題の取り組み方を把握する。 <p>【他】 ・語彙の拡張、定着を図る。</p>	<p>【評論】 様々な演習問題への取り組みを通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象語彙等、近現代の諸問題に関わる専門用語について、意味の定着を図る。 ・キーワードの把握方法、用語の正確な把握方法を学ぶ。 ・一定の時間での読解・解法に習熟し、問いと答えを正確に判断する。 ・記述問題の取り組み方に習熟する。 <p>【小説】 様々な演習問題への取り組みを通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景描写と人物心情の関係を表現技法から理解し、作品の構成・展開を正確に把握する。 ・自己中心的な読解・発想から、客観的な読解、多角的な発想への転化を図る。 ・一定の時間での読解・解法に習熟し、問いと答えを正確に判断する。 ・記述問題の取り組み方に習熟する。 <p>【他】 ・語彙の拡張、定着を図る。</p>	
到達目標	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論の展開を正確に読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 論理の二項対立的な図式を把握し、論旨を的確に理解することができる。 <input type="checkbox"/> 評論の読解に慣れ、一定の時間で文意を把握することができる。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作品の構成・展開を正確に把握して、テーマを的確に理解することができる。 <input type="checkbox"/> 作品の修辞技法、構造、テーマと筋との関係性などを理解することができる。 <input type="checkbox"/> 小説の読解に慣れ、一定の時間で文意を把握することができる。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論・小説に頻出する語彙を、読解や解答に使用することができる。 <input type="checkbox"/> 記述問題や応用的な問題に積極的に取り組み、解答することができる。 	<p>【評論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論の展開を正確に読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 論理の二項対立的な図式を把握し、論旨を的確に理解することができる。 <input type="checkbox"/> 評論の読解に慣れ、一定の時間で文意を把握することができる。 <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作品の構成・展開を正確に把握して、テーマを的確に理解することができる。 <input type="checkbox"/> 作品の修辞技法、構造、テーマと筋との関係性などを理解することができる。 <input type="checkbox"/> 小説の読解に慣れ、一定の時間で文意を把握することができる。 <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評論・小説に頻出する語彙を、読解や解答に使用することができる。 <input type="checkbox"/> 記述問題や応用的な問題に積極的に取り組み、解答することができる。 	
評価材料	定期考査（中間考査①、中間考査②） 授業中の発言・発表・態度、課題の提出 問題演習への取り組み 他	定期考査（学年末考査） 授業中の発言・発表・態度、課題の提出 問題演習への取り組み 他	
備考			